

環境放射線量の状況

平成24年3月から平常時の放射線量を測定し公表しています。
平成29年8月

日	月	火	水	木	金	土
日付		1	2	3	4	5
測定値		0.04	0.04	0.05	0.04	測定値
6	7	8	9	10	11	12
測定値	0.05	0.04	0.04	0.04	祝日	測定値
13	14	15	16	17	18	19
測定値	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	測定値
20	21	22	23	24	25	26
測定値	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	測定値
27	28	29	30	31		
測定値	0.05	0.04	0.04	0.04		

最高値 0.05 μ シーベルト

単位：測定値 (μ シーベルト毎時)

最低値 0.04 μ シーベルト

※測定は、平日15時に役場庁舎周辺で計測。

平均値 0.04 μ シーベルト

道内の平常レベル(平均)は、0.04~0.09 μ シーベルト毎時程度といわれています。



役場の交通安全運動係に
続々と集まっている「アクリ
ルたわし」は、蘭越町交通安
全協会蘭越支部女性ドライ
バー部会の難波部会長をはじ
め27名による作品で、洗剤不
用のエコたわしとしてご存知
の方も多いと思います。

お家のどこかに眠っている
「アクリルたわし」がありま
したら、お試しください。
家には無いけど、「アクリ
ルたわし」を使ってみたい方
は、9月25日午後2時から蘭
越町交通安全協会蘭越支部女
性ドライバー部会による交通
安全通過車両啓発活動で配り
ます。福島建設事務所前(宇
大谷)で行いますので、是非、
お立ち寄りください。

フラッシュ ニュース

8.1→8.31

- 1日・ちびっ子キャンプ村(~2日)
- 3日・チャレンジクッキング!おやこ食育教室
- 5日・第1回蘭越町長杯選抜ジュニア(U-12)サッカー大会
- ・第3回蘭越ブキニスト
- 10日・第42回福祉スポーツ大会
- 11日・第41回目名地区夏祭り
- 12日・第10回三和盆踊り・花火大会



- 14日・「お盆婦省期の交通安全運動」黄色い旗の波街頭啓発
- ・第14回水上・淀川・大谷地区盆踊りの集い
- 15日・蘭越町成人式
- ・蘭越信友会納涼盆踊り大会
- ・昆布納涼盆踊り&ピアガーデン
- 17日・ナイター水泳講習記録会(18・21・22日)
- 22日・全町女性レクリエーションスポーツ交流大会
- 26日・第34回蘭越小学生水泳大会兼第18回町民スポーツ水泳大会
- ・体育協会蘭越支部パークゴルフ大会
- 28日・第2回蘭越町農業委員会総会
- 30日・良質米生産対策推進協議会
- 31日・第31回秋季ゲートボール大会

らんこし文芸

短歌 (蘭越短歌会から)

小森 チナ

ふるさとはこれが最後と思われて
父母の墓前に花を供えて

むらさきの小花いっばいライラック
盛り上がるように咲きほころぶ街

田中ちるは

踏みしめて暑さの峠越えたれば
雲立つ峰に秋の影さす

中林 トメ

夏椿ぼたりぼとりと落ちる花
樹下に溜りし白きがあはれ

中屋 吉恵

真夏日の神威岬も良しとして
海の碧さや磯のかおりも

野口のぶ子
今日もまた山が夕日を呑みこみて
あすの出番に地球の何処も

宮内誠子

毎日が未知との遭悪しき事
無き様希い今日を始むる

臨山 好子

盛り終え花卉を摘まむ朝の刻
もったいないと手元ためらう

吉田 文子

うっすらと汗ばむ肌にこもち好き
風の渡りにサビタも揺れぬ

久保田飛鳥

種入れた六週鉢に土ばかり
いちごを入れし翌日芽は出る

久米 直人

突然の転機の訪れいつになる
自分磨きの旅への挑戦

俳句 (蘭越俳句会から)

寿鳳 選

曇天や杖庭明るし黄紫陽花

小川 澄江

竿先に北向く蜻蛉風を讀み

田中 水月

敬老会元氣印で酒を酌む

西岡 孝一

スイスイと我が世の時ぞ赤蜻蛉

中兼 裕美子

父の忌や淡く黄いろく百合開く

上野 朝子

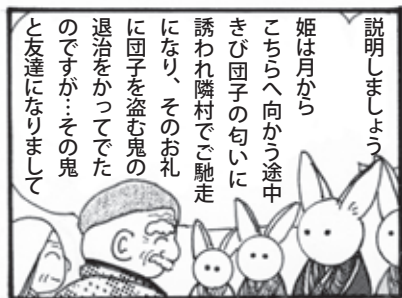
一奇に墓標海向く稲光り

石坂 寿鳳

選者吟

☆ホットひと休み☆

～ お団子 ～



編

集

室

8月22日、皆既日食がアメリカで見られました。北海道では今度いつ見られるかなと調べたら、2063年8月24日と46年後でした。それにしても皆既日食の予測がこんなに早くわかるってすごいものですね。(か)

先日、取材で蘭越小学校の給食時間にお邪魔させていただきました。この日は、蘭越の生産者が丹精込めて作ったトマトが給食に出されると聞き、1年生の教室に伺いました。児童たちの拳より大きいトマトが1個ずつ、配られ、「トマト好き」、「トマト嫌いだから写さないで」と様々な声の中、給食が始まると、思いつきりかぶりつく児童や慎重に少しずつ食べる児童、苦手なようで手を付けずにいる児童など様々でした。今の時代、丸かじりはお行儀のよくないことかもしれませんが、この日の児童たちには、素敵な経験だったのではないのでしょうか。(わ)